

専門委員会開催報告

専門委員会名	第4回「『地層処分事業の安全確保 2010』レビュー」特別専門委員会
開催日時	平成 23 年 4 月 15 日(金) 13:30~15:00
開催場所	(財)エネルギー総合工学研究所 7 階会議室
参加人数	11名 東委員長(京大名誉)、山崎委員(首都大)、斉藤委員(東大)、藤田委員(JAEA)、向井委員(JAEA)、蛭沢委員(エネ総研)、 他オブザーバー
議 事	<p>1. 前回議事録案が確認され了承された。さらに、意見がある場合には、蛭沢幹事あて連絡することとした。</p> <p>2. 蛭沢幹事より、当特別専門委員会のレビュー報告書案について、前回第3回委員会からの検討、調整などに係る経緯について説明があった。要点は次の通り。</p> <p>① 当初予定していた、日本原子力学会の春の年会、バックエンド部会企画セッションでの参加者意見聴取は、春の年会自体が取りやめになったことにより中止となった。</p> <p>② そこで、東委員長と相談のうえ、当特別専門委員会としては、4月の委員会は取りやめ、4月に最終委員会を開催して報告書のとりまとめを行うこととした。</p> <p>③ 第3回委員会欠席者には、委員会後に第3回委員会の状況も含め個別に説明し、前回提出したレビュー報告書案に対するコメントを聴取した。</p> <p>④ 幹事にて、委員会での意見およびそれら個別に提出された意見および3章に係る具体的な文章案を踏まえて改訂案を検討した。</p> <p>⑤ 幹事と東委員長にて、上記改訂案を含め最終委員会提出用報告書案を検討、作成。第4回委員会前に、各位委員に対し、メールにて送付し、事前チェックを依頼した。</p> <p>⑥ 事前送付した報告書案に対し、複数の委員より回答があった。</p> <p>⑦ 本日資料に示す新堀委員からの具体的コメントが事前に寄せられた。</p> <p>3. 蛭沢幹事より、当特別専門委員会のレビュー報告書案につき、前回からの変更点を中心に説明があった。</p> <p>引き続き、新堀委員より事前に提出された「3.4 地層処分事業の段階的实施と可逆性について」に関するコメントについて説明があった。</p> <p>委員会にて検討の結果、「3.4地層処分事業の段階的实施と可逆性について」に関しては、当該コメント箇所を、「早い段階で後に後戻りを余儀なくされるような不確実性要因が残らないような進め方」(変更点は下線部分)として最終とすることとした。また、9ページ脚注(東北地方太平洋沖地震発生と当レビュー報告書審議の関係に係る記述)は、次の通り、「しかし」を追記することとした。</p> <p>「～安全性の評価などに係る議論が想定される。</p> <p>しかし、当特別専門委員会によるNUMOの「安全確保2010 レビュー版」に対するレビューは、～」(変更点は下線部分)</p>

	<p>その他の前回からの変更点については了承された。</p> <p>4. 蛭沢幹事より、当特別専門委員会のレビュー報告書の扱いについて次の通り説明があり了承された。</p> <p>① 本日の委員会をもって報告書内容の調整は終了とする。</p> <p>② レビュー最終報告書は、原子力学会事務局を経て、4月末日までにNUMOに提出される。</p> <p>③ 昨年度同様、レビュー報告書は日本原子力学会のホームページにて公開されることが予定されている。手続きの時間を考慮すると、公開の時期は5月の連休明けになるのではないかとと思われる。</p> <p>④ 公開時には、昨年度同様、レビュー対象となったNUMOの報告書(レビュー版)もあわせて公開するよう日本原子力学会事務局に依頼する。</p> <p>5. 石黒氏より、参考資料2に基づき、「地層処分事業の安全確保 2010」作成に係る方針について説明があった。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備 考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	第3回「『地層処分事業の安全確保 2010』レビュー」特別専門委員会
開催日時	平成 23 年 3 月 4 日(金) 13:30~15:30
開催場所	(財) エネルギー総合工学研究所 7 階会議室
参加人数	23名 東委員長(京大名誉)、山崎委員(首都大院)、長坂委員(防災科研)、小峯委員(茨城大院)、藤田委員(JAEA)、新堀委員(東北大院)、佐々木委員(京大院)、斉藤委員(東大院)、向井委員(JAEA)、蛭沢委員(幹事、エネ総研) 他オブザーバーおよび事務局:
議 事	<p>1. 交通事情のため、急遽、佐藤委員が欠席する旨連絡があった。</p> <p>2. 蛭沢委員から報告書のドラフト案の説明があった後、レビュー報告書案の内容について質疑および意見があった。主なコメントなどは次の通り。</p> <p>① NUMO設立後10年間の研究開発成果とNUMOの評価が重要であるとする、そのような記述がせれることをコメントする必要があるのではないか。</p> <p>② 1章「まえがき」にある、NUMO報告書の目的と対象読者のコメントは3章に移し、まえがきはなるべくシンプルにしたほうがよい。</p> <p>③ 2章の当専門部会のレビュー方法についての記述は、なるべく短く完結にするのがよい。</p> <p>④ レビュー報告書案の「3.1地層処分事業の技術開発の総合的なマネジメントについて」は、NUMOが技術を紹介したり、技術を持っている人そのものの信頼性を示すというより、それらの人たちをマネジメントすることを示すことが重要ではないか。そのようなことが適切に表現できているか文章を検討する。</p> <p>⑤ レビュー報告書案の「3.3不確実性を含む事業の安全性の示し方とセーフティケースについて」は、不確実性とセーフティケースの関係をより強調した記述にしてはどうか。</p> <p>⑥ レビュー報告書案では可逆性のことが淡々と記述されているとの印象である。NUMO報告書では可逆性の重要さをより認識した記述がされることをレビュー報告書に含めることは重要であると思われる。</p> <p>3. レビュー報告書案に対するコメントは、3月12日までに蛭沢幹事あて送付することとした。次回委員会には、幹事より委員からのコメントに基づくレビュー報告書の改訂案を提出することとした。</p> <p>4. 次回委員会の開催予定: 3月24日(木)10:00~12:00</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備 考	

平成 23 年 4 月 28 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第2回「『地層処分事業の安全確保 2010』レビュー」特別専門委員会(臨時会)
開催日時	平成 23 年 1 月 14 日(金) 10:00~12:00
開催場所	(財) エネルギー総合工学研究所 7 階会議室
参加人数	6名 小峯委員(茨城大院)、藤田委員(JAEA)、向井委員(JAEA)、蛭沢委員(エネ総研、幹事) オブザーバーおよび事務局
議 事	<ol style="list-style-type: none">1. 1月12 日に開催された第2回全体委員会の議事について蛭沢幹事から紹介があった。2. 蛭沢幹事から各委員のコメントの要点説明があった。3. 小峯委員から6章のレビューコメントの説明および記載内容確認の討議があった。4. 藤田委員から6章のレビューコメントの説明および記載内容確認の討議があった。5. 向井委員から7章のレビューコメントの説明および記載内容確認の討議があった。6. 蛭沢委員から今後のレビューについて、全体的視点なコメントを5つくらい署名入りで提出していただき、事務局と委員長との協議の上、方針案を提案する旨、説明があった。7. レビュー結果の公開方法について、蛭沢委員から既存の例について説明があった。 <p style="text-align: right;">以上</p>
備 考	

平成 23 年 4 月 28 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第2回「『地層処分事業の安全確保 2010』レビュー」特別専門委員会
開催日時	平成 23 年 1 月 12 日(水) 13:30~15:30
開催場所	(財) エネルギー総合工学研究所 7 階会議室
参加人数	12名 東委員長(京大名誉教授)、佐藤委員(北大院)、山崎委員(首都大)、長坂委員(防災科研)、斎藤委員(東大院)、蛭沢委員(エネ総研、幹事) 他オブザーバーおよび事務局
議 事	<p>1. 蛭沢幹事から各委員のコメントの要点説明があった。</p> <p>2. 事業編分科会(1月5日実施)における長坂委員のコメントメモについて、長坂委員に議事録内容をご確認いただいてから正式なレビューコメントとすることとした。</p> <p>3. 山崎委員から5章のレビューコメントについてご説明があった。</p> <p>4. 長坂委員から、事業編の記述についてコメントがあった。</p> <p>5. 小峯委員、藤田委員、佐々木委員の主要コメントを読み上げ内容を確認した。</p> <p>6. 斎藤委員から主要なレビューコメントの説明があった。</p> <p>7. 向井委員のコメントについては、14 日の臨時会にご出席いただくため紹介を見送り、各自で内容確認して頂くこととした。</p> <p>8. 山崎委員から8章のレビューコメントの説明があった。</p> <p>9. レビュー委員会として今後の方針について各委員に意見を求め討議した。 主要内容を以下に示す。</p> <p>① 事務局は残る形になるようにレビューコメントを整理する。</p> <p>② この委員会全体としては、全体としてどうかということを五つ以内くらいに絞って署名入りで書いて頂いて、これを皆で議論することとする。</p> <p>③ 臨時会の反応をきいて情報交換し、今後のレビューの方向を決めることにする。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備 考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	第1回「『地層処分事業の安全確保 2010』レビュー」特別専門委員会(臨時会)
開催日時	平成 22 年 11 月 25 日(木) 17:00 ~ 19:00
開催場所	(財) エネルギー総合工学研究所 7 階会議室
参加人数	11名 佐藤臨時委員長代理(北大院)、蛭沢幹事(エネ総研)、千木良委員(京大防災研)、向井(JAEA) 説明者:武田、河田、石黒、田村(以上、NUMO) 他オブザーバーおよび事務局
議 事	<p>1. 佐藤臨時委員長代理より、昨日開催された第1回委員会に続き第1回の臨時会として本会を開催する旨紹介があった。</p> <p>2. 幹事より、昨日の第1回検討会における議論の状況について紹介があった。主な点は次の通り。</p> <p>① NUMOより公表された「地層処分事業の安全確保2010」について、昨年度のレポートからの延長ではなく、全く新しいレポートしてレビューをしていただきたい旨意見があったこと。</p> <p>3. 幹事より、昨日開催の第1回委員会からの申し送り事項として次の紹介があった。</p> <p>① 東委員長よりの提案に基づき追加委員について検討した結果、日本原子力研究開発機構(JAEA)より、藤田朝雄殿、向井雅之殿の推薦があった旨紹介があり、第1回委員会では両氏の委員としての就任が承認された。</p> <p>② 本日の第1回委員会臨時会においても審議することとされた。</p> <p>以上にに基づき審議の結果、本委員会臨時会では両氏の委員就任について了承された。</p> <p>4. NUMOより、「地層処分事業の安全確保2010 レビュー版」の概要について説明があった。引き続き質疑応答、およびコメントがあった。主要な意見は次の通り。</p> <p>① 段階を踏んで意思決定していく、ある段階で、こういう問題がありそうだから前まで戻って考えるというルートも含んだ進め方を示しておく必要があるのではないか。設計で回避するものもあろうが、サイト調査に戻ってサイトで回避しようということもあるだろう。事業者側の考えと受けて(自治体)の考えが一致していないと段階的な意思決定に滞りが出てしまう可能性があるのではないか？</p> <p>② 柔軟性や後戻りは実際にはなかなか難しいが、実施主体としてどのように考えているか。柔軟な意思決定やそれを具体的にどのように計画上で明示しているかと聞かれることもあると思うがどうか。</p> <p>③ 品質保証、ガラス固化体などの件もあり、難しい課題もあろうが、NUMOとしてどのように全体を把握していくかは重要な課題である。</p> <p>5. その他、今後のスケジュール案について幹事より説明し、基本的に了承された。今後の開催予定について確認した。</p>

	<p>第2回委員会：2011年1月12日、および14日(今回同様2回に分けて実施する)</p> <p>第3回委員会：2011年3月4日</p> <p>なお、第1回委員会以降、第2回委員会の間に、それぞれの担当省によりレビューを実施する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備考	

平成 23 年 4 月 28 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第1回「『地層処分事業の安全確保 2010』レビュー」特別専門委員会
開催日時	平成 22 年 11 月 24 日(水) 17:00 ~ 19:20
開催場所	(財) エネルギー総合工学研究所 7 階会議室
参加人数	19名 東委員長(京大名誉)、蛭沢幹事(エネ総研)、長坂委員(防災科研)、新堀委員(東北大院)、佐々木委員(京大院)、斉藤委員(東大院)、藤田(JAEA) 説明者:武田、河田、石黒(以上、NUMO) 他オブザーバーおよび事務局
議 事	<p>1. 東委員長より、NUMOより公表された「地層処分事業の安全確保2010」について、昨年度のレポートからの延長ではなく、全く新しいレポートしてレビューをしていただきたい旨意見があった。</p> <p>2. 幹事より、東委員長よりの提案に基づき追加委員について検討した結果、日本原子力研究開発機構(JAEA)より、藤田朝雄殿、向井雅之殿の推薦があった旨紹介した。本日の第1回委員会では両氏の委員としての就任が承認された。</p> <p>明日の第1回委員会臨時会においても審議することとされた。</p> <p>最終的に承認されたのちは、幹事より原子力学会あて必要な手続きをとることとした。</p> <p>3. NUMOより、「地層処分事業の安全確保2010 レビュー版」の概要について説明があった。引き続き質疑応答、およびコメントがあった。主要な意見は次の通り。</p> <p>① ビューのポイントは二つ。一つは、個々の技術に関わる記述については専門に照らしてコメントする。もう一つは、安全確保構想(特に3章)で述べられた基本的考え方が、8章の「処分場概念の構築における安全確保策の連携」で締めくくられる精密調査地区選定に至る計画が論理的に整合し、かつ大方の関連領域の専門家が納得できる内容になっているかどうか。また、それに必要になるNUMOの現状の技術力が適切に示されているか、という大枠の考え方についても注意する。</p> <p>4. その他、今後のスケジュール案について幹事より説明し、基本的に了承された。</p> <p>今後の開催予定について確認した。</p> <p>第2回委員会:2011 年1月12 日、および14 日(今回同様2回に分けて実施する)。第3回委員会:2011 年3月4日</p> <p>なお、第1回委員会以降、第2回委員会の間に、それぞれの担当章によりレビューを実施する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備 考	